

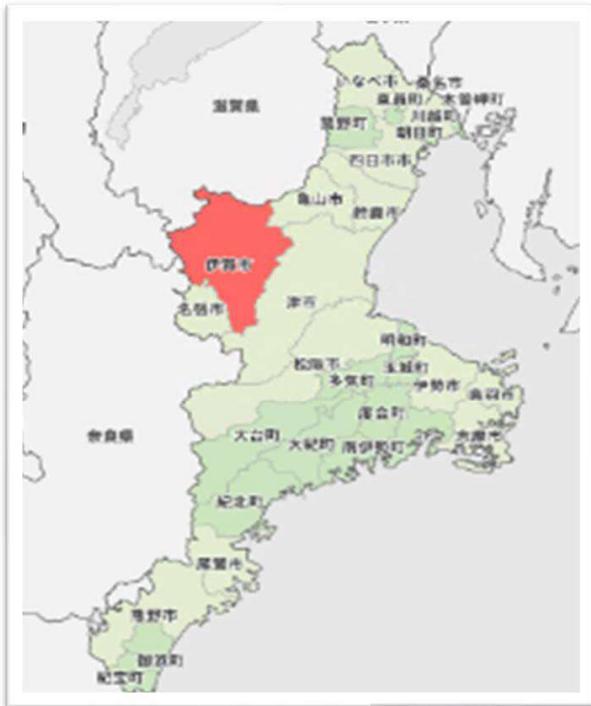
【資料2-1】令和7年度高齢者の保健事業と  
介護予防の一体的実施に係る東海北陸厚生局管  
内意見交換会（令和8年2月2日）

# 高齢者の保健事業と介護予防事業の 一体的実施の取組について

伊賀市地域包括支援センター 保健師 山田 順恵

# 伊賀市の概要

伊賀市は三重県の北西部  
滋賀県、京都府、奈良県と県境の市  
名阪国道が東西を貫き、大阪と名古屋へは各々1時間  
平成16年、上野市・伊賀町・島ヶ原村・阿山町・大山田村・  
青山町の6市町村が合併し、「伊賀市」誕生  
気候は典型的な内陸型気候  
伊賀流忍者、俳聖松尾芭蕉など歴史文化の薫る地域



# 実施体制



## 庁内連携

課名	担当職種	役割
保険年金課	事務職	会議の運営・広域連合との連絡調整・予算、支払
地域包括支援センター	保健師	一体的実施事業企画・調整・事業評価・事業実施
医療福祉政策課	事務職	事業計画、健康課題の共有・事業内容の相談・事業実施の報告
介護高齢福祉課	事務職	事業計画、健康課題の共有・事業内容の相談・事業実施の報告
健康推進課	保健師	一体的実施事業企画・相談・事業実施

## 連携機関

機関名	役割
医師会	事業計画、健康課題の共有、事業内容の相談・事業実施の報告
歯科医師会	事業計画、健康課題の共有、事業内容の相談・事業実施の報告
歯科衛生士会	ハイリスクアプローチ（口腔）の実施について、具体的なプログラムや資料について相談
薬剤師会	事業についての啓発依頼
社会福祉協議会	生活圏域の健康課題の共有・通いの場などへの介入の橋渡し

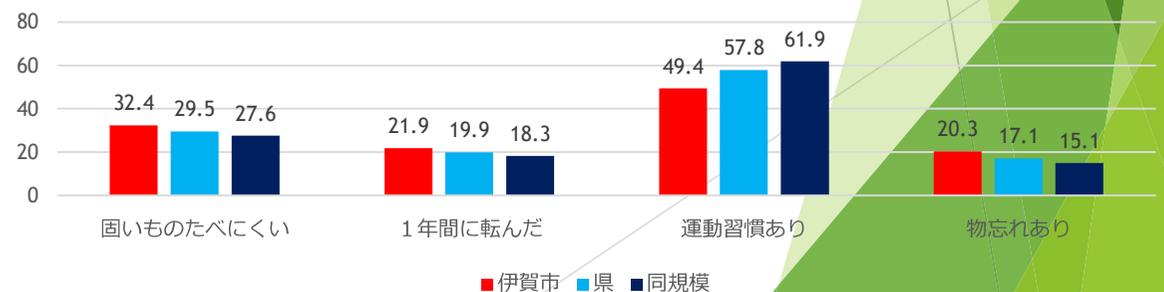
## 伊賀市の概要

R7.4.1時点

人口	84,060人
高齢化率	34.2%
後期高齢者被保険者数	16,755人
後期高齢者健診受診率	40.7%
日常生活圏域数	9圏域
一体的実施開始年度	R3年度

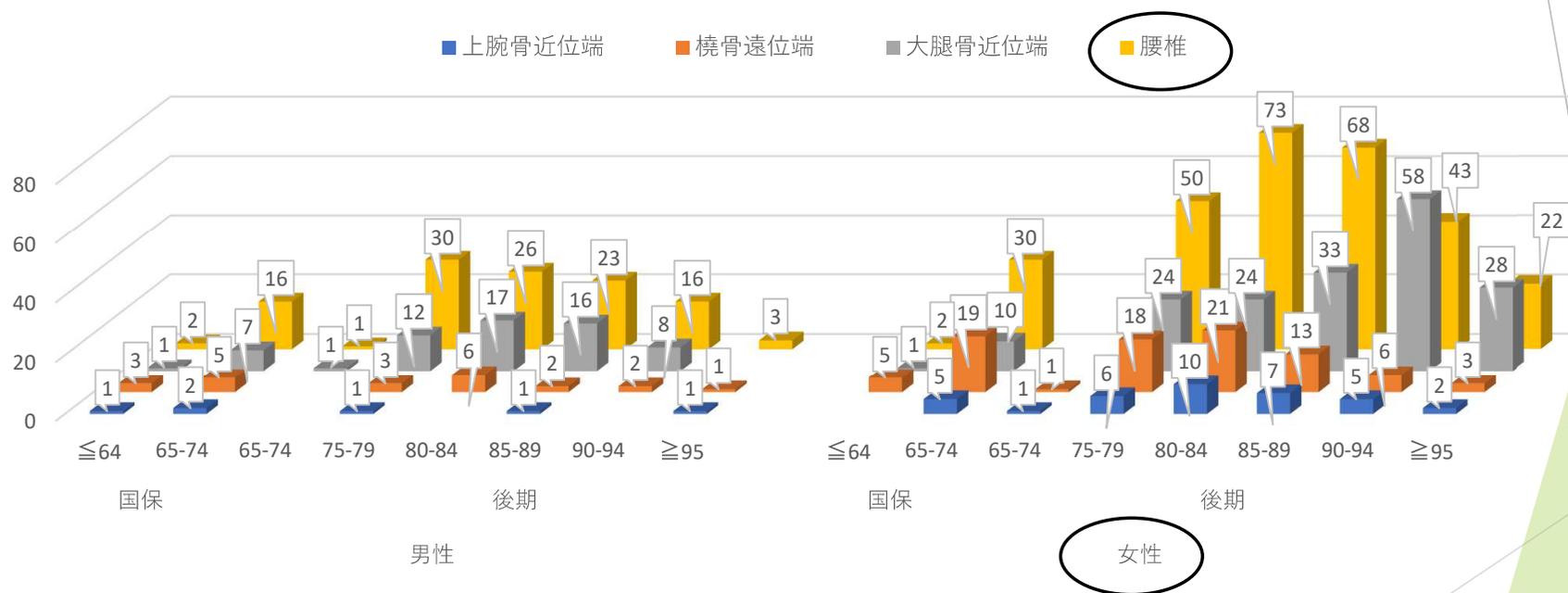
- 「固いものが食べにくい」の割合が高いが、歯科の受診率は低い。
- 「転倒した」と答えた人が多く、運動習慣のある人が少ない。
- 「物忘れがある」と答えた人が多い。
- 高血圧症の罹患率が高い。
- 骨折で入院している人が多い。
- 要支援、要介護1の認定率が高い。

後期高齢者健診質問票 (%)



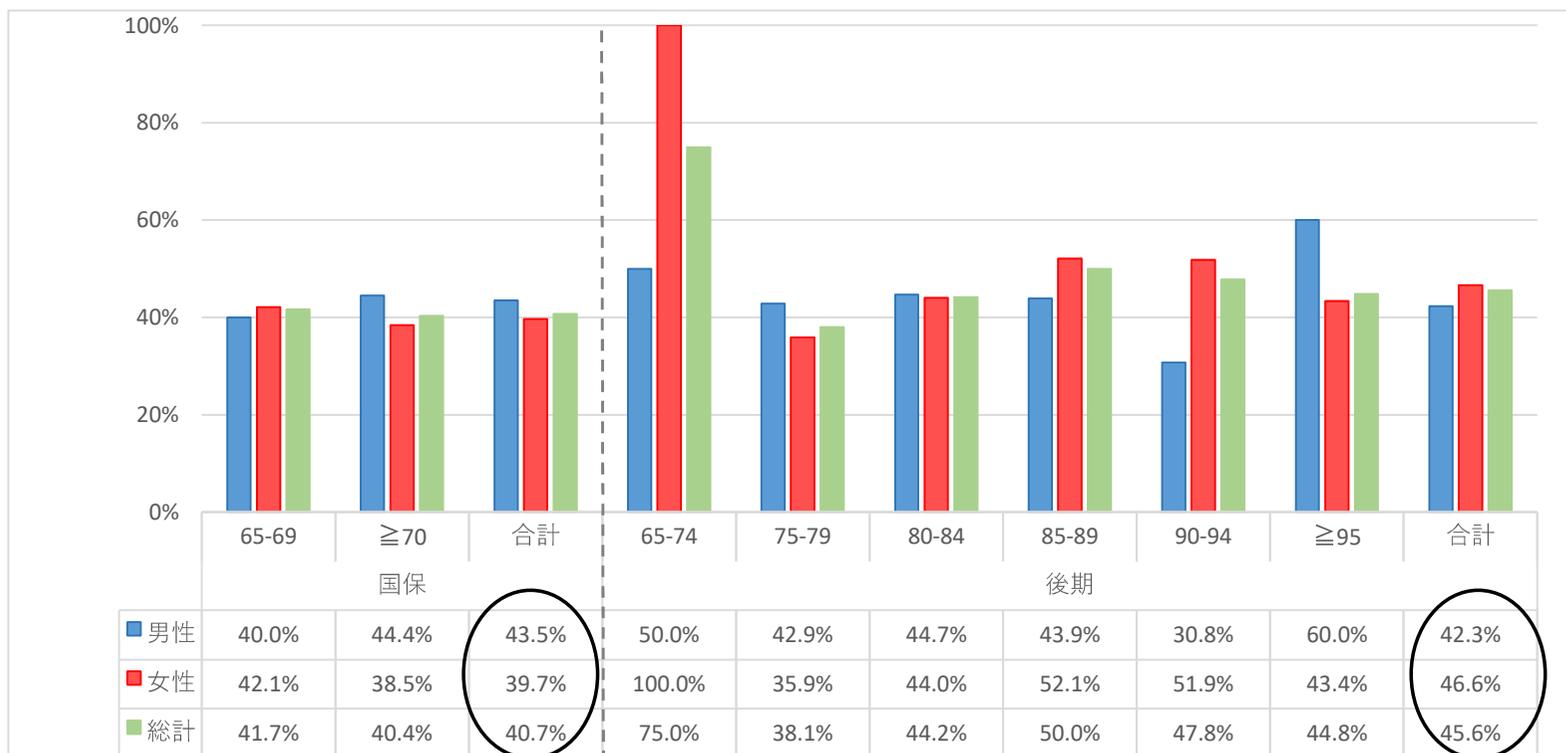
## 【三重県国保連合会資料】

令和6年度中に高齢者4大骨折に罹患した人数（部位別、性別、年代別）



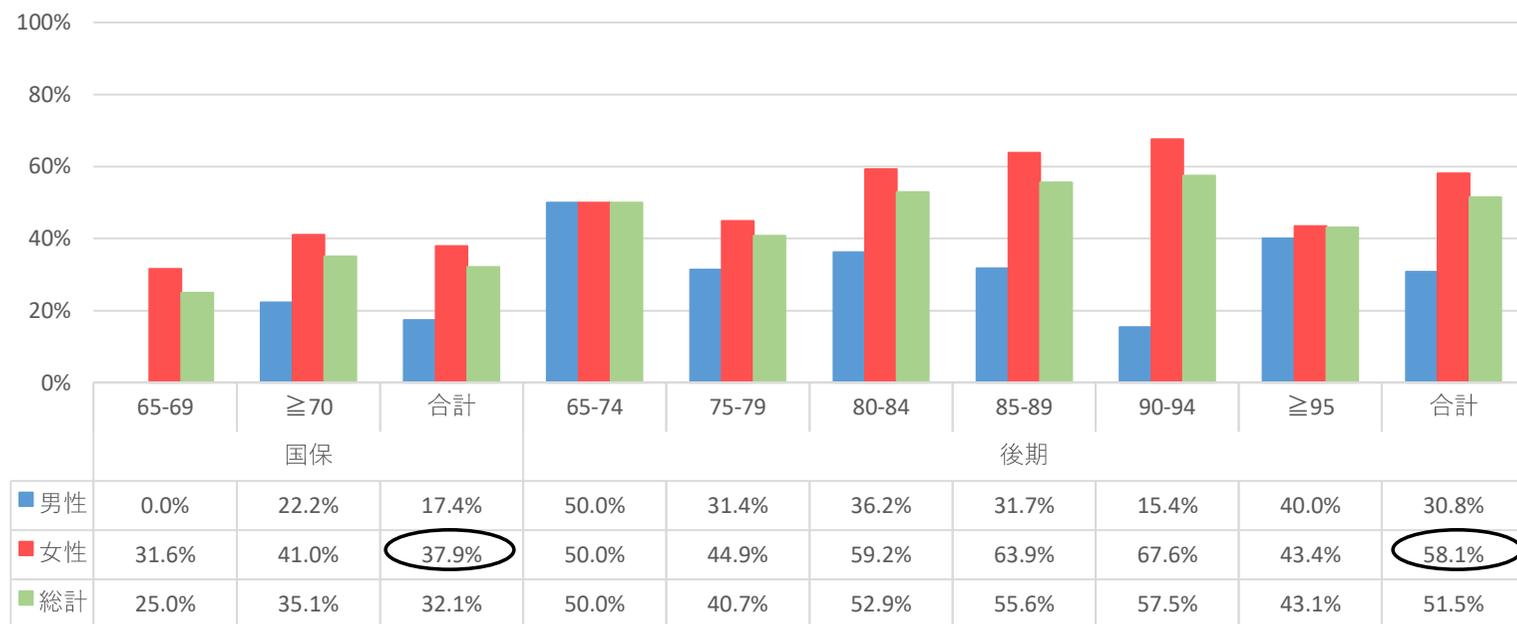
全体数としては腰椎骨折患者が最も多く、男性よりも女性の方がかなり多い。

## 4大骨折罹患者の過去（60歳以降）の骨折既往の有無 （令和1～5年度の骨折受診患者／令和6年度の4大骨折患者）



国保と後期を比較すると、後期のほうが過去に骨折している割合が高い。  
令和6年度4大骨折患者の4割強が過去に骨折の既往がある。

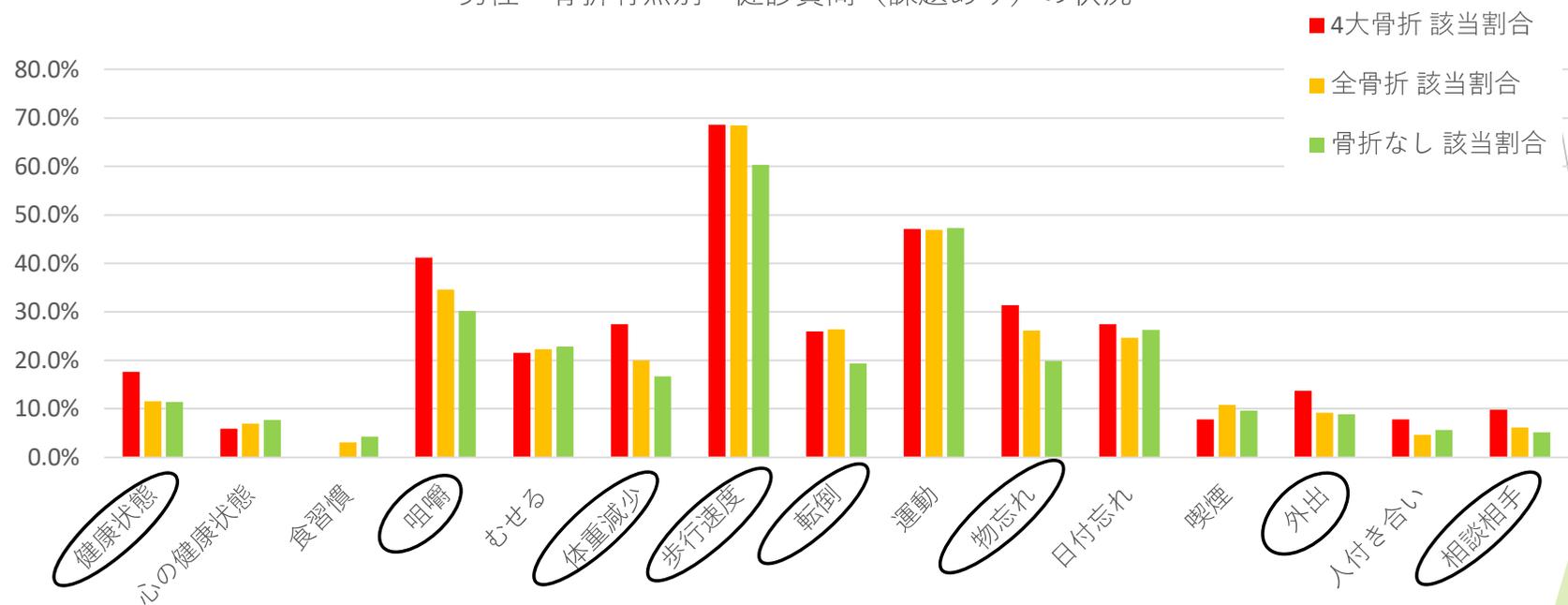
## 令和6年度の4大骨折罹患者の骨粗しょう症既往の有無 (令和1~5年度の骨粗鬆症患者／令和6年度の4大骨折患者)



95歳以上を除き、女性は年齢が高くなるほど骨折患者の骨粗しょう症受診割合は高くなる。  
男女比は差が大きく、国保では2倍強、後期でも2倍弱の差がある。

## 令和6年度4大骨折罹患者の前年度（令和5年度）健診質問票回答状況

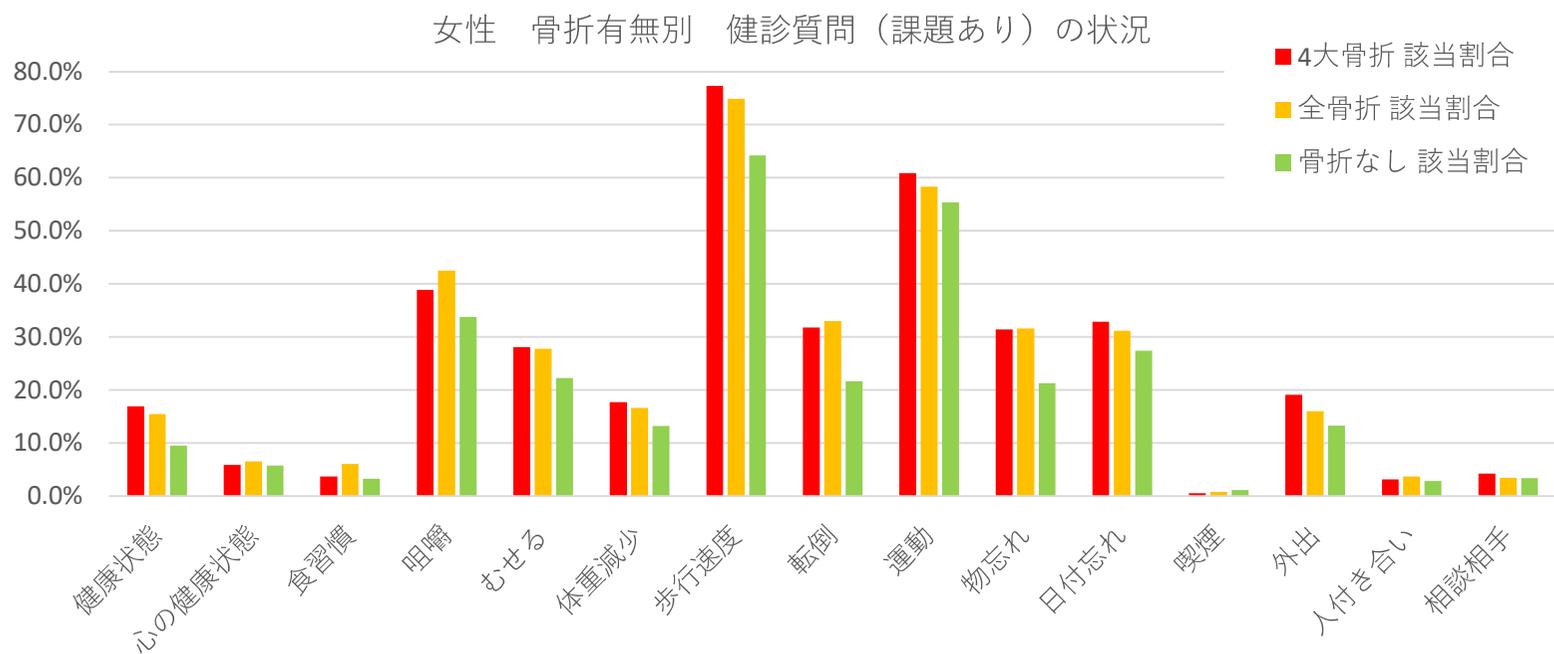
男性 骨折有無別 健診質問（課題あり）の状況



男性では、骨折患者ほど以下に課題がある人の割合が高い。

・健康状態・咀嚼機能・体重減少・歩行速度・転倒・物忘れ・外出頻度・相談相手

## 令和6年度4大骨折罹患者の前年度（令和5年度）健診質問票回答状況



女性では、骨折患者の方が喫煙以外いずれの項目も課題がある割合が高い。

# ポピュレーションアプローチの内容

## ①健康教育・健康相談

- お達者講座（地域包括支援センター）
- 出前講座（健康推進課）
- まちの出前講師（健康推進課）

## ②イベントを利用したフレイル予防事業

## ③介護予防リーダーによる介護予防教室



# ポピュレーションアプローチ 事業結果（令和6年度）

## 健康教育・健康相談

実施回数	参加者数
82	802



**転倒を防いで  
骨折を予防しよう！**  
伊賀市では骨折する人が多い！？  
転倒を防ぐために  
下半身の筋肉を鍛えましょう  
（例：講話30分+トレーニング30分）



**フレイルってなに？  
予防に大切な事を知ろう**  
フレイルを学び、  
健康な生活を維持しましょう  
（例：講話30分+体操30分）



**フレイルチェック！  
体力測定会【定員15名】**  
自分の身体を知り、  
生活習慣を見直しましょう



**認知症を予防しよう**  
認知症の予防および認知症の方への対応について、分かりやすくお話しします。  
簡単な脳トレも実施します。  
楽しく認知症を予防しましょう！

イベントでも伊賀市の  
健康課題を周知

講話の後に地域の健康  
課題を情報提供

生活習慣改善につなげる

介護予防教室

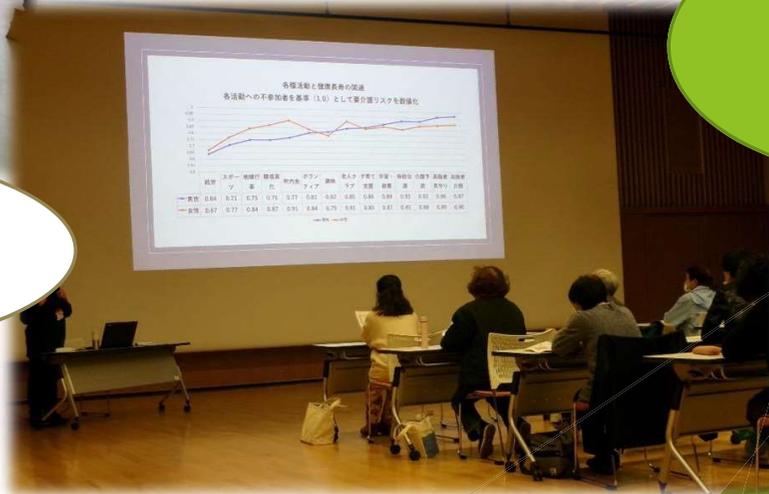


地域の介護予防  
リーダーが開催！



出前講座

県・市・地域ごとに  
課題をグラフ化



楽しく介護予防  
伊賀  
12  
サポート  
にんにん

# 歯科医師会・歯科衛生士会との連携

# 国民健康保険担当課・健康推進課・ 地域包括支援センターとの3課連携

あなたの健康、  
見直してみませんか？  
健康づくり応援イベント開催中

日時：10月2日(木) 9:00~11:30

参加費：無料  
どなたでも参加できます！  
ご近所お誘いあわせのうえ、ご参加ください

イベント内容

- ☆健康測定コーナー☆  
血管年齢測定、骨年齢測定
- ☆脳の健康チェック☆
- ☆お口の健康チェック☆
- ☆日常に役立つ栄養アドバイス☆

主催：伊賀市役所 保険年金課



国保診療所イベント

後期高齢者健診と国保特定  
健診集団健診実施

集団健診の結果説明会

# ハイリスクアプローチの取り組み事業

## ①重症化予防

- 低栄養
- 口腔
- 糖尿病治療中断者
- 腎機能不良未受診者
- コントロール不良者（血压）



## ②健康状態不明者

# ハイリスクアプローチ 抽出条件



事業	抽出条件			
	R5健診	医療	年齢	地区
低栄養	BMI18.5以下かつ ALB3.8以下	ガン、認知症、腎不全に罹患していない	75～84歳	全圏域
口腔	—	1年間歯科受診なし	75～84歳	3地区 (毎年変更)
糖尿病治療中断者	未受診	過去3年間に糖尿病薬処方ありかつ現在 治療なし 認知症・ガン・高血圧症罹患者は除外	84歳以下	全圏域
腎機能不良	eGFR45未満又は 尿蛋白(+)以上	その他の医療未受診	84歳以下	全圏域
コントロール不良者 (血圧)	収縮期血圧180以上又は 拡張期血圧100以上	高血圧治療なし	89歳以下	全圏域
健康状態不明者	R4.5未受診	R4.5未受診	76歳	全圏域

# 低栄養

- 抽出条件**
- ① 令和5年度特定健康診査の結果が、BMI18.5以下かつアルブミン3.8 g/dl以下
  - ② 介護保険未認定かつ84歳以下
  - ③ ガン、認知症、腎不全の治療中でない
- ※上記すべてに該当する人

抽出条件該当者  
61人

事業案内通知送付  
(令和6年8月20日)

通知者55人

除外6人  
(死亡2人、介護認定4人)

参加確認

参加意向あり保健指導10人  
(18.2%)

参加意向なし  
45人

最後までモチベーションが維持され、脱落者は無し！

結果評価

項目	増加	維持	改善なし
体重の変化 維持 (±1kg未満) 増加 (+1kg以上)	7名	3名	0名
食生活の改善 蛋白質 (主菜、乳製品) の摂取量の増加	8名	2名	0名

# 低栄養案内チラシ・食生活チェックシート

## 食生活習慣の聞き取り用シート

### 「栄養相談」のご案内 ～ご自分に必要な栄養について勉強しませんか？

このお手紙は、令和6年度の後期高齢者健診の結果で、低栄養の心配のあるかたにお送りしています。

低栄養とは、「健康に生活するために必要な栄養が足りない状態」のことをいいます。高齢になると食が細くなったり、食べにくい食材が増えたりするため、栄養不足になりがちです。栄養不足の状態が続くと、病気にかりやすくなったり、筋肉が減少することで、転んで骨折をすることもあります。

ご希望のかたには、保健師と栄養士がご自宅を訪問し、これからも健康やかな生活を送るための食事のポイントについてお話しをいたします。

ご希望のかたは下記のお申し込み先へ、9月5日までにご連絡ください。

【 さんの令和6年度の健診結果より 】

検査	あなたの数値	目標とする値	
B M I (体格を表す指数)		21.5~24.9	20.0以下は やせ気味の状態
体 重	令和5年度より、	kg	体重が減少していました。



（昨年、栄養相談を受けた人の声）  
ちゃんと食べてるつもりやったけど、相談してみたら、たんぱく質が足りないことが分かりました。いろいろお話を聞いてもらってよかったです。

【申し込み、お問い合わせ先】

【 さんの令和6年度の健診結果より 】

検査	あなたの数値	目標とする値	
B M I (体格を表す指数)		21.5~24.9	20.0以下は やせ気味の状態
体 重	令和5年度より、	kg	体重が減少していました。

### 案内理由の明確化

### 食生活習慣チェックシート

記載日 令和 年 月 日

氏名	性別	男性・女性	現在の年齢	歳
自宅	携帯			

各質問の該当する回答の番号に○をつけてください。

【からだのチェック】

質問	回答
1 最近6カ月間で2kg以上、体重が減りましたか？	1. 体重が増った 2. 減っていない
2 ご自分の体格をどのように考えていますか？	1. 細い 2. 少し細い 3. ふつう 4. 少し太い 5. 太い
3 栄養状態の自己評価をしてください。	1. 自分は低栄養だと思う 2. わからない 3. 問題ない
4 同年齢の他人と比べ自分の健康状態をどう思いますか？	1. よくない 2. わからない 3. 同じ 4. よい
5 次の7つの病気で治療を受けていますか？治療を受けているものに○をつけてください（複数回答可）。	1. 脳卒中 2. 心臓病 3. 消化管(食道、胃、腸)の病気 4. 慢性呼吸器疾患 5. 癌に関する病気(入れ歯に関することを含む) 6. うつ病 7. 認知症 8. 7つの病気の治療はしていない

食生活のアンケート

質問	回答																																																									
1 食事回数は1日何回ですか？	1. 1回 2. 2回 3. 3回																																																									
2 昨日(普段の1日)食べたものを、主食、主菜、副菜、牛乳・乳製品、果物に分けて下の表に○をつけ、それぞれの○の数を合計してください。																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主食</th> <th colspan="3">主菜</th> <th>副菜</th> <th>牛乳・乳製品</th> <th>果物</th> </tr> <tr> <th>炭水化物</th> <th colspan="3">たんぱく質</th> <th>野菜のおかず</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ごはん パン うどん そば など</td> <td>肉 ハム ソーシ など</td> <td>魚介</td> <td>卵</td> <td>豆腐 納豆 大豆 など</td> <td>野菜炒め サラダ おひたし みそ汁など <small>※いも、きのこ、海藻を含む</small></td> <td>牛乳 ヨーグルト チーズなど</td> <td>バナナ 桃 スイカ キウイ みかん りんご など</td> </tr> <tr> <td>朝食</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>昼食</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夕食</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>間食</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	主食	主菜			副菜	牛乳・乳製品	果物	炭水化物	たんぱく質			野菜のおかず			ごはん パン うどん そば など	肉 ハム ソーシ など	魚介	卵	豆腐 納豆 大豆 など	野菜炒め サラダ おひたし みそ汁など <small>※いも、きのこ、海藻を含む</small>	牛乳 ヨーグルト チーズなど	バナナ 桃 スイカ キウイ みかん りんご など	朝食							昼食							夕食							間食							合計						
主食	主菜			副菜	牛乳・乳製品	果物																																																				
炭水化物	たんぱく質			野菜のおかず																																																						
ごはん パン うどん そば など	肉 ハム ソーシ など	魚介	卵	豆腐 納豆 大豆 など	野菜炒め サラダ おひたし みそ汁など <small>※いも、きのこ、海藻を含む</small>	牛乳 ヨーグルト チーズなど	バナナ 桃 スイカ キウイ みかん りんご など																																																			
朝食																																																										
昼食																																																										
夕食																																																										
間食																																																										
合計																																																										
3 高血圧やコレステロール、肥満などが気になって控えているものはありますか？(複数回答可)	1. 肉 2. 卵 3. 魚 4. 油脂類 5. その他( ) 6. ない																																																									
4 おやつを食べ、食事に影響することがありますか？	1. 影響することがある(おやつで食事がたべられない等) 2. 影響しない 3. おやつを食べない																																																									
5 アルコールを飲んで、食事に影響することがありますか？	1. 影響することがある(おやつで食事がたべられない等) 2. 影響しない 3. アルコールを飲まない																																																									
6 食事の支度は負担に感じますか？	1. 負担を感じる 2. 負担に感じない 3. 食事の支度をしていない																																																									

# 低栄養取組シート

本人と一緒に3か月の取組目標を2つ決める  
1つは週1回の体重測定！

さんの取り組みたいこと

① 週1回 曜日に体重を測る

②

取り組むことができたならカレンダーに○をつけましょう

記入例  
39.5kg

9月

日	月	火	水	木	金	土	今週の体重
	1	2	3	4	5	6	kg
7	8	9	10	11	12	13	kg
14	15	16	17	18	19	20	kg
21	22	23	24	25	26	27	kg
28	29	30					kg

10月

日	月	火	水	木	金	土	今週の体重
			1	2	3	4	kg
5	6	7	8	9	10	11	kg
12	13	14	15	16	17	18	kg
19	20	21	22	23	24	25	kg
26	27	28	29	30	31		kg

11月

日	月	火	水	木	金	土	今週の体重
						1	kg
2	3	4	5	6	7	8	kg
9	10	11	12	13	14	15	kg
16	17	18	19	20	21	22	kg
23	24	25	26	27	28	29	kg
30							kg

12月

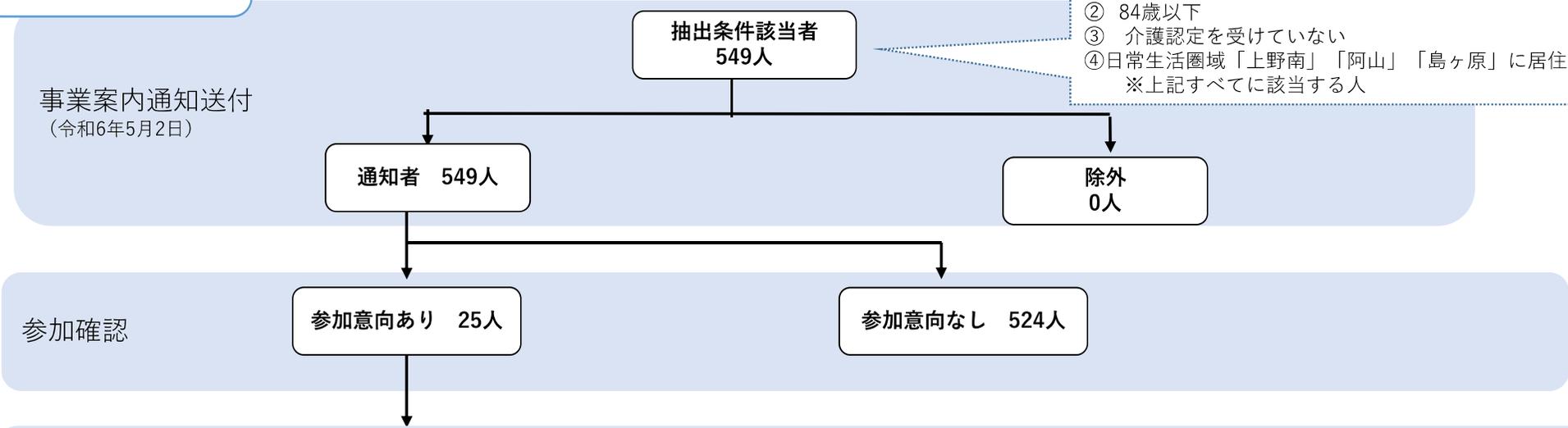
日	月	火	水	木	金	土	今週の体重
	1	2	3	4	5	6	kg
7	8	9	10	11	12	13	kg
14	15	16	17	18	19	20	kg
21	22	23	24				kg
28	29	30					kg

目標ができたなら○  
中間・最終訪問でシート確認



# 口腔

- 抽出条件**
- ① 1年間歯科受診していない
  - ② 84歳以下
  - ③ 介護認定を受けていない
  - ④ 日常生活圏域「上野南」「阿山」「島ヶ原」に居住  
※上記すべてに該当する人



事業案内通知送付  
(令和6年5月2日)

参加確認

教室開催 「お口の元気アップ教室」 市内3か所で開催（毎年変更）  
参加者数 21人（参加率3.8%）  
\* 集団指導の時間を必要最低限とし、個別指導の時間を多くとるように設定

参加者の50%弱  
が受診行動あり

結果評価	受講後アンケート	満足度98点（100点満点） 口腔の悩みを解決するための助言が得られたと回答 92.9% 印象に残ったことを尋ねる設問では、手鏡で口腔内を観察しながら直接指導を受けたことが上位に挙がった。
	受講後の行動	歯科医院を受診10人（47.6%） *うち歯科健診を受診した人3人 歯科保健行動の変化あり17人（81.0%） *歯間ブラシの使用開始、歯ブラシの当て方の改善と答えた人が多かった。

# 口腔 案内チラシ・スケジュール

**定員 15名!**

**「お口の元気アップ教室」のご案内**  
～食べる楽しみをいつまでも～

「固いものが食べにくい」「お茶や汁物でむせる」「口が渾く」といった症状はありませんか？もしかしら、お口の機能が低下し始めているかもしれません。私たちの身体は、日々口にした食べ物でできています。口は栄養の入り口であるとともに、食べる楽しみを与えてくれる大切な器官です。教室では、お口の機能を測る色々な検査を用意しています。とっても勉強になります！興味のあるかたは是非、「お口の元気アップ教室」にご参加ください。参加をご希望のかたは、6月10日（火）までに下記へお申し込みください。

最近1年間に、歯科医院を受診していない75歳以上のかたにご案内しています

**【日時と場所】**

月 日	時 間	場 所
6月24日（火）	13:30～15:00	新居地区市民センター

**【教室の内容】**

**ご自分のお口の状態を知るための検査**  
唾液の量、口の周りや舌の動き、歯垢がたまっていないか・・・などを測定してご自分の口の健康状態を知ることができます。

**お口の手入れの方法を学びます**  
歯科衛生士が、皆さんそれぞれのお口に合わせて、手入れの方法を指導します。

**【持ち物】**  
筆記用具、ハンドタオル、飲み物  
※費用はかかりません。  
※入れ歯を使っているかたも、ご参加いただけます。  
※ご参加のかたには、歯科衛生士さんおすすめのお歯ブラシ・入れ歯用歯ブラシなどのプレゼントを差し上げます。  
※ご家族やご友人とご参加を希望されるかたは、申し込みの際にお申し出ください。

**【問い合わせ・お申し込み先】**  
伊賀市地域包括支援センター（中部）  
保健師：山田、横尾  
電話 0595-26-1521  
FAX 0595-26-1521  
E-mail houkai@city-iga.lg.jp

最近1年間に、歯科医院を受診していない75歳以上のかたにご案内しています

- ①口腔水分量検査
- ②舌口唇運動機能検査
- ③咀嚼チェックガム
- ④染め出し
- ⑤結果を見ながら個別指導

参加者に歯ブラシ、歯間ブラシ、歯磨き剤、トレーニング用吹き戻し等プレゼント!!

R7年度 口腔機能低下予防教室「お口の元気アップ教室」

●6月24日（火） タイムスケジュール  
【実施場所】新居地区市民センター  
【スタッフ】歯科衛生士：藤岸、保健師：横尾、西村  
【実施内容】

時 間	内 容	スタッフ	準備物
12:45～	会場準備	保健師 歯科衛生士	カメラ
13:15～13:30	受付 問診表の記入	保健師	受付簿 問診表・筆記具
13:30～13:35	あいさつ・スタッフ紹介 教室の開催目的	保健師	
13:35～13:45	講話 オーラルフレイルについて 検査の目的と流れ	歯科衛生士	
13:45～14:05	自分の口の状態を知ろう！ 検査順序 【詳細】を参照 ①口腔水分量検査 ②舌口唇運動機能検査 ③咀嚼チェックガム ④染め出し ⑤結果を見ながら個別指導	歯科衛生士 保健師	別の紙を作り、グループに分かれて検査ガムは各グループ毎に揃って実施。担当者が60回（100回）を数える。
14:05～14:15	講話 まとめの話 質疑応答	歯科衛生士	検査結果表は持ち帰り、コピーを後日郵送
14:55～15:00	後期高齢者歯科健診受診勧奨 後期高齢者健診受診勧奨	保健師	チラシ、アンケート配布
15:00	プレゼント進呈 アンケート記入	保健師	アンケート回収

**【準備物品】** 問診表、筆記用具、資料、カメラ、アンケート用紙、出席名簿、検査結果記録用紙  
ムース、ムースカパー、健康くんハンディ、染め出し液、咀嚼ガム、綿棒、紙コップ2種、ティッシュペーパー、ペーパータオル、ウエットティッシュ、缶、やかん、エプロン、ペーパートレイ、歯ブラシ、歯間ブラシ、デンタルフロス、手鏡、ごみ袋、新聞紙、グローブ2種、ガムテ、吹き戻し、歯科健診チラシ、非接触体温計  
プレゼントセット（歯ブラシ、歯間ブラシ、歯磨き剤、歯間用歯ブラシ）



個別で  
ブラッシング指導



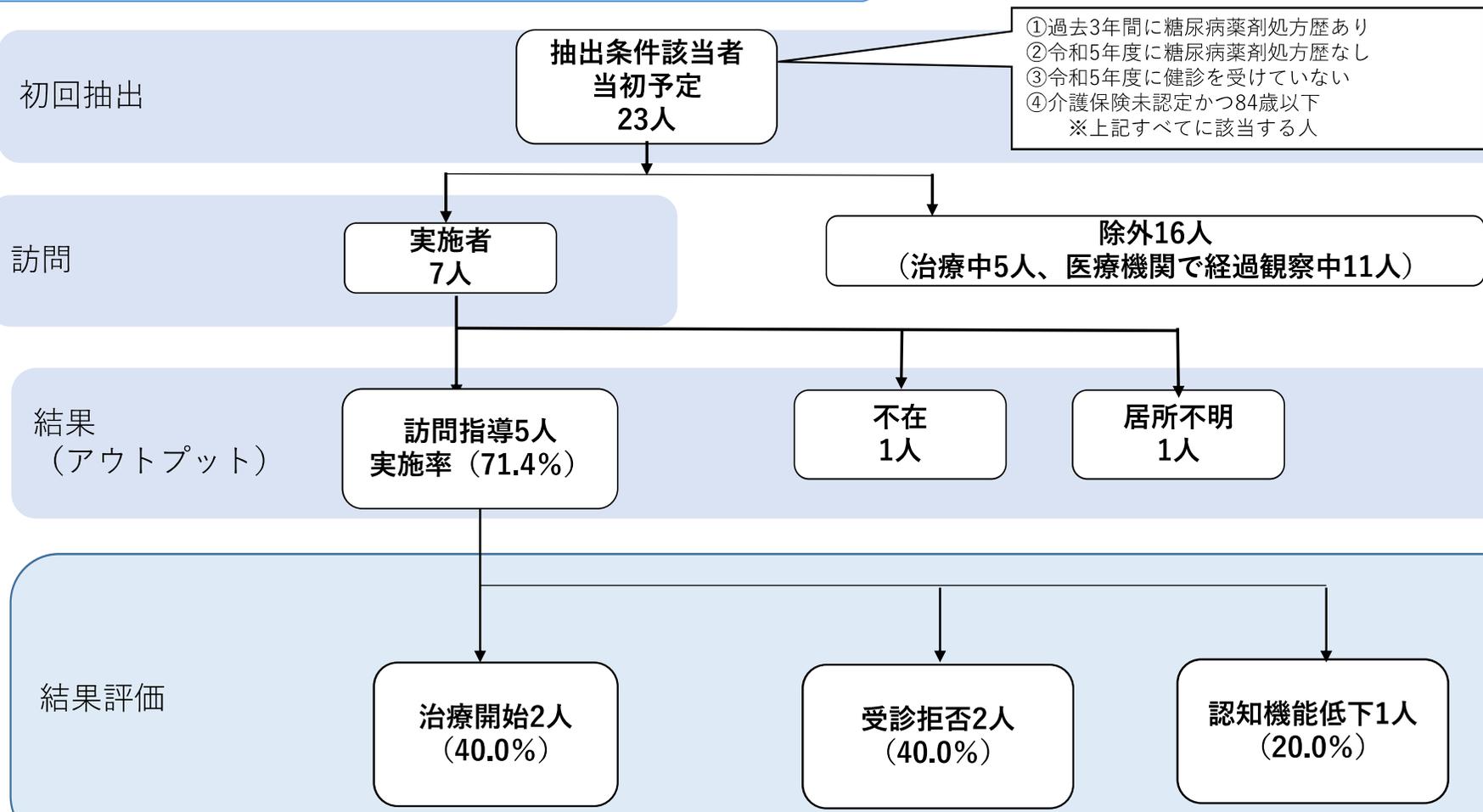
口腔機能低下  
予防教室



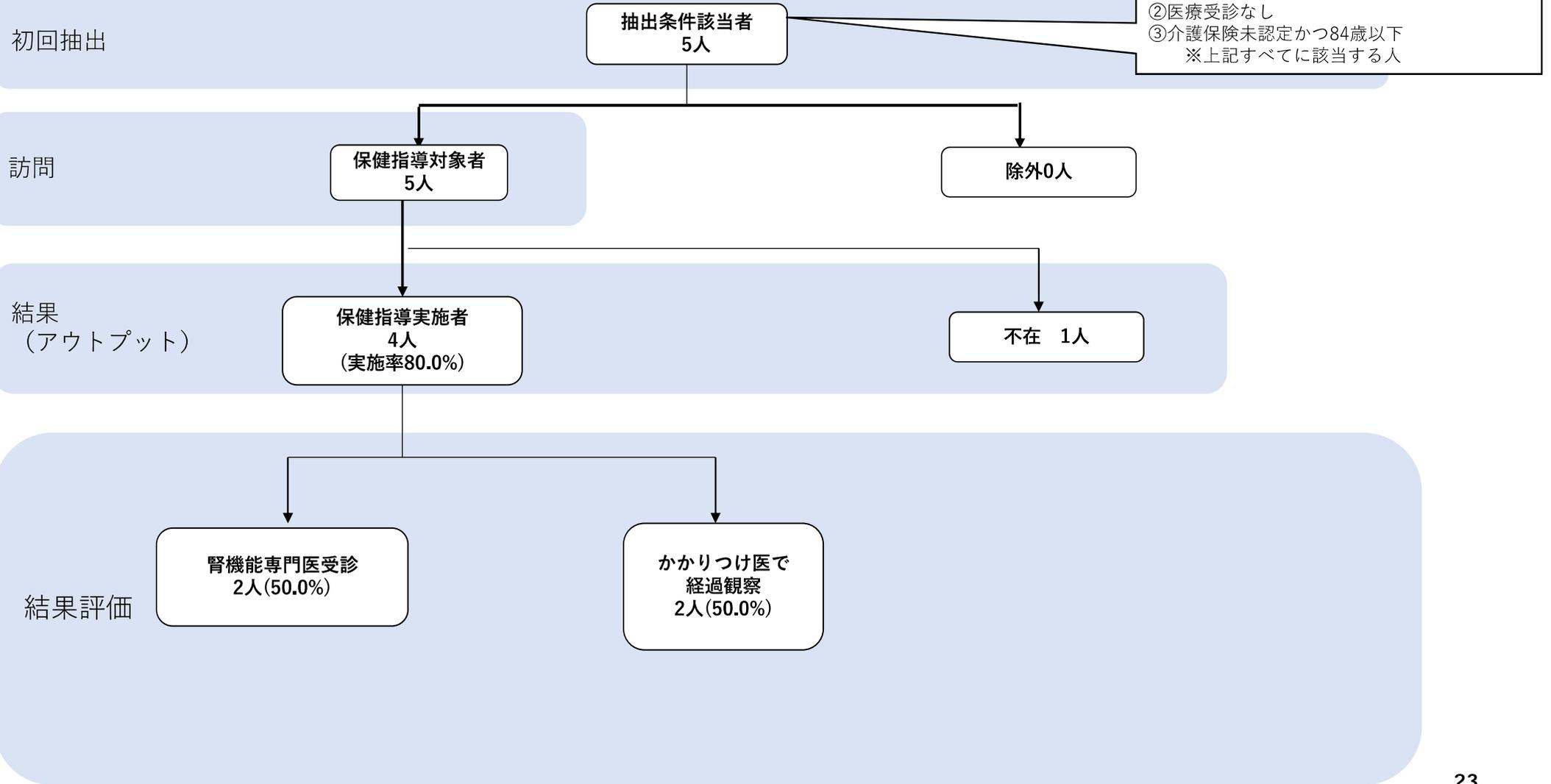
鏡を見ながら、  
磨き残しをチェック！



# 糖尿病性腎症重症化予防（糖尿病治療中断者）



## その他生活習慣病 腎機能不良未受診者



# コントロール不良者（血压）

初回抽出

抽出条件該当者  
14人

- ①R5年度健診受診結果「収縮期血圧が180mmHg以上」または「拡張期血圧が100mmHg以上」
  - ②令和5年度に高血圧薬剤の処方歴なし
  - ③介護保険未認定かつ89歳以下
- ※上記すべてに該当する人

訪問

保健指導対象者  
9人

除外5人（治療中5人）

結果  
(アウトプット)

保健指導実施者  
9人  
(実施率100.0%)

結果評価

高血圧治療開始  
・継続者  
3人(33.3%)

高血圧未治療者  
(主治医から治療  
の指示なし・経過  
観察  
2人(22.2%)

治療放置服薬拒否者  
4人(44.4%)  
  
\* 全員、家庭血圧  
測定習慣なし

クモ膜下出血発症 1人

# 健康状態不明者

初回抽出 (令和6年4月15日)

抽出条件該当者  
39人

## 抽出条件

- ①R6.3月現在76~77歳
  - ②R4.5年度健診未受診
  - ③R4.5年度医療未受診
  - ④介護保険未認定
- ※以上全てに該当する人

1回の訪問では会えない  
就労している人も多い

訪問

36人

除外 3人 (医療受診、生活保護、死亡)

結果  
(アウトプット)

保健指導  
26人  
実施率(72.2%)

訪問拒否  
2人

不在・連絡取れず  
8人  
(国外居住2人、居所不明3人、不在3人)

医療受診中  
2人

至急対応の必要なし  
23人

介護等接続必要  
1人

結果  
(アウトカム)

健診受診勧奨

接続  
1人

健診受診  
4人 (15.4%)

健診未受診  
22人 (84.6%)

ほとんどの人が特定健診も  
受診していない (健診を受  
ける習慣がない)

## ハイリスクアプローチ事業結果（令和6年度）

取組区分	対象者	参加者	評価指標及び結果
低栄養	55	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体重維持、改善ができた者の割合：100%</li> <li>・食事内容が改善できた者の割合：80%</li> <li>・1年後に要介護認定を受けた者の割合：10%</li> </ul>
口腔	549	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医療機関への受診状況：47.6%</li> <li>・1年後に要介護認定を受けた者の割合：4.8%</li> </ul>
糖尿病治療中断者	7	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診又は受診につながった者の割合：40%</li> </ul>
腎機能不良	5	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診が確認できた者の割合：50%</li> </ul>
高血圧	9	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診が確認できた者の割合：55.6%</li> </ul>
健康状態不明者	36	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診を受診した者の割合：15.4%</li> <li>・医療・介護サービス等につながった者の割合：100%</li> </ul>

# 一体的実施の取組の中での課題

取組区分	課題
低栄養	事業対象者リストの中で、事業開始時に既に死亡している人が散見される。自分が低栄養であると認識していない人も多く、ポピュレーションアプローチが重要。
口腔	口腔課題の多い地区を選定し、身近な会場で教室を開催する方法をとっているが、参加者は少なく、人集めに苦労。
糖尿病治療中断者	数回の訪問では、受診行動につながらない人がいる。強い医療不信や価値観に裏付けられた行動であり、行動変容を促すのは難しい。伴走型支援が有益とされるが、そのためのマンパワーが不足している。
腎機能不良	
コントロール不良（血压）	
健康状態不明者	早い段階からの介入を目的に対象年齢を76歳としているため、就労している人も多く面談に至らないケースもある。包括が市直営のため、介護や総合相談につなぎやすい。
ポピュレーション	地域によって、実施回数に差がある。地域福祉コーディネーターの協力を得て、自治協議会やサロン活動担当者につながる。

## 事業推進のための課題と今後の取組

- ①ハイリスク者の中には、継続した見守りが必要な人がいるが、マンパワー不足で継続支援が難しい  
⇒対象者のリストを作成し、変化があればすぐに関与できるように準備
- ②重症化予防は大切であるが、後期高齢者になるまでの予防が重要  
⇒若年層からの疾病予防、 3課が連携し、継続した保健事業の取組
- ③ポピュレーションアプローチの評価方法
- ④従事する医療専門職のスキルアップが必要  
⇒人材育成を担当する統括保健師と調整し、系統的な研修を実施
- ⑤医師会・歯科医師会との連携





ご清聴ありがとうございました

